



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：溝上 純一郎 / 副会長：池永 隆司 / 副会長：崎山 信幸 / 幹事：馬場 貴博

2015～2016 年度クラブスローガン

思いやりの心 奉仕の心で 友情を実践しよう

週報制作：会報・出席委員会／南部 建、田代博之、松尾英機、指山康二、崎元英伸、平岩義明、野村和義、宮崎祐輔

本日の出席率 67.4%：会員数 45名・出席 26名・欠席 14名・出席規定免除会員(5) 3名・ビジター 2名
 前々回の修正出席率 100%：出席 28名・メークアップ 12名・出席規定免除会員 3名



会長挨拶／溝上 純一郎君



皆さんこんにちは。本日はガバナー公式訪問例会です。会員の皆さまも御存知のように太田義久ガバナーが病に倒れました。

代理で安部直樹パストガバナー、それに先週に引き続き古賀良一第6グループガバナー補佐、佐伯岳歩地区幹事をお迎えしています。

本日はよろしくお願ひ致します。

前回の例会で触れましたが、日本の長寿企業についての話です。ロータリークラブの理念と相通ずるものがあるのではと思いましたので紹介したいと思います。日本全国124万社のうち創業100年以上の会社が2万社、千年以上が7社とされています。このような長寿企業が多く存続している業種の傾向は、

- (1) 生活密着型業種であること
- (2) ファミリー単位の事業であること
- (3) 伝統文化と共存してきたこと

等があげられます。

- (1) は食品、日本酒、菓子、醤油、味噌、漢方薬
- (2) は旅館、紙漉師、鍛冶、鋳物師等の職人的な技能を要する分野

- (3) は天皇、寺社仏閣、茶の湯、華道や能です。

代表的な企業として西暦578年、聖徳太子の命を受け百濟から招かれた宮大工の金剛重光により創業された大阪の金剛組。同じく宮大工をルーツの竹中工務店。大倉酒造（月桂冠）。辰馬本家酒造（白鹿）。佐世保の潜龍酒造、梅が枝酒造、大関等の酒造メーカー。寝装品の京都西川など創業400～500年の企業は、日本には世界でも例を見ない長寿企業がたくさんあります。

では なぜ日本に多くの長寿企業が存在しているのか？

- (1) 大陸からはなれた島国だということ
異民族の侵入を受ける危険が少なかった中国やヨーロッパと違う
- (2) 日本人の国民性
日本人は異文化、宗教も排除することなく共存共栄を目指すという考えがあった
- (3) 日本人の独特なビジネス観・企業間

ビジネスを単なる金儲けだけではなく、社会的な意義があるものと考えた。その企業で働く従業員も仕事を生計の為だけとは思わなく資本家と労働者は敵対的な関係と思う人は少ない。職場で自己実現、自己充足が得られることが期待して仕事をしている。

企業永続の8つの法則

- (1) 経営者 後継者が明確な使命やビジョンを持っている事
- (2) 事業を長期的視点持って経営する
長期的繁栄の証拠である暖簾を守る
- (3) 人間経営 従業員や、その家族を一体となって繁栄をめざす。
- (4) 顧客志向の徹底 顧客の存在があって持続できる
- (5) 事業を通じて積極的に社会に貢献してゆく姿勢が基本であ
- (6) 変化を恐れず絶えざる革新を目指す姿勢
- (7) 質素 倹約の勧め
- (8) 価値観や経営のあり方を組織内で維持し継承してゆく努力を怠らないことである

そして、特異なことは株式を上場していないことです。上場して資金調達の方法はとらず資金を大事に使い保守的な運用をしていることが、企業の延命に役立っているのかもしれない。



本日のビジター紹介

パストガバナー
第6グループガバナー補佐
地区幹事
唐津東ロータリークラブ

安部 直樹様
古賀 良一様
佐伯 岳歩様
新岡 正久様
坂本慎一郎様

Report 幹事報告／馬場 貴博君

1. 例会変更
ありません。

2. 来 信
・ガバナー事務所

①第3回青少年交換学生オリエンテーションのご案内
 日時 2015年9月27日（日）13時より
 場所 本経寺 書院

・RI第2740地区RAC代表事務局

フェイスブック紹介カードの送付



結婚記念日

9月13日 芥川圭一郎・香織 ご夫妻
 9月15日 本田 実・由美 ご夫妻
 9月23日 戸浦 善彦・美代子 ご夫妻
 9月23日 宮崎 祐輔・容子 ご夫妻

Birthday

今月のお誕生会員

昭和11年9月20日 長富 寿人君



ニコニコボックス

パストガバナー 安部直樹様・地区幹事 佐伯岳歩様

よろしくお願ひ致します。

溝上 純一郎会長・池永 隆司副会長・崎山 信幸副会長
馬場 貴博幹事

本日はガバナー公式訪問例会になっております。安部直樹
 パストガバナー、古賀良一ガバナー補佐、佐伯岳歩地区幹
 事のご来訪を心より歓迎致します。

この度発生した台風による北関東の洪水被害にて被災され
 た皆様に、心よりお見舞ひ申し上げます。

溝上 純一郎会長・馬場 貴博幹事

唐津東ロータリークラブ 新岡正久様、坂本慎一郎様のご来
 訪を心より歓迎致します。

坂井智照君

安部直樹パストガバナー、古賀良一ガバナー補佐、佐伯岳
 歩地区幹事のご来訪を心より歓迎致します。

本田実君

結婚記念日のお花ありがとうございました。30周年目でした。

宮崎祐輔君

結婚記念日のお花ありがとうございました。

山口裕之君

全九州看板コンクールにおいて立看板の部1位、総合3位を
 受賞しました。賞金も頂けるとのことでしたのでニコニコしま
 す。作品は創立25周年式典の会場でもある、ホテルオーク
 ラJRハウステンボスに10月9日～12日まで展示されますの
 で、お時間のあられる方は是非、見に行ってください。



本日の卓話

■ ガバナー公式訪問例会 ■

« 2015～16年度 K.R. ラビンドランRI会長 »

会長メッセージ

世界のプレゼントになろう (Be a gift to the world)

ガバナー月信2015年7月号3頁をご覧ください。

« 2015～16年度 太田義久第2740地区ガバナー »

ガバナー挨拶

地域活性化のお手伝いを

第2740地区方針「地域へのプレゼントになろう」

ガバナー月信2015年度7月号6頁をご覧ください。

安部直樹パストガバナー卓話

本日は出来るだけ、太田義久ガバナー
 の気持ちを考えながら、しばし卓話をさ
 せて頂きます。



ご承知のように、RI会長のK.R. ラビンド
 ラン氏はスリランカの出身で、当初は祖父の経営する広大な土
 地の農園経営をし、紅茶の栽培をしていましたが、1972年の
 スリランカの社会主義政策で、一家が所有する土地は数千エー
 カーからわずか50エーカーに縮小され、K.R. ラビンドラン氏は
 失業しました。その後、一念発起し、ティーバッグの質の高い
 包装品を作り上げました。現在、この会社はティーバッグ包装
 の製造業界で世界屈指の企業との一つとなっています。大富
 豪から経営破綻、失業という失意の底から奮起して成功者とい
 うサクセスストーリーの人生は、それだからこそ人の情、支援、
 協力、励まし等を人一倍感じた人生、そのような経験から、
 今日のスローガン「世界へのプレゼントになろう」ということです。

もともとスリランカは東洋の思想が色濃く残って、国民のほと
 んどが仏教徒でもあります。仏陀も、かつて禅の教えを広めた
 達磨大師もインド出身でもあります。この仏教の教えを「世界
 へのプレゼントになろう」ということに変えますと、それは「施し(ほ
 どこし)」ということ。「施し」は思いやりであります。

私は「施し」の言葉で思い出しますのは、かつて武田信玄
 の生地、甲斐の国に武田家の菩提寺である恵林寺(えりんじ)
 があります。武田信玄が亡くなり、その息子武田勝頼はやがて
 織田信長に亡ぼされますが、当時、信長は恵林寺の住職 快
 川(かいせん)和尚に再三、織田家に来てくれと願ひますが、
 快川和尚はかたくなに拒否します。怒った信長は恵林寺を焼
 き討ちします。その時、燃えさかる炎の中で快川和尚が述べ
 た有名な言葉が「心頭滅却すれば火もまた涼し」という一言で
 す。この夏の暑いさなか、暑い暑いという人に何だ「心頭滅
 却すれば火もまた涼し」ではないかという言葉がいき交うこと
 があります。これは、正式には「安禅は必ずしも山水を須(もち)
 いず心中を滅し得れば自ら涼し」という禅の言葉でもあります。

しかし、この言葉にある若い僧が疑義をとねえす。心頭滅却

本日の合計	15,000 円
本年度の累計	264,000 円

ロータリー情報

■ ハイライトよねやま186号 ■

：：今月のトピックス：：

- ・寄付金速報 —10月の米山月間に向けて—
- ・理事会・評議i委員会開催報告 —新しい評議員を選任
- ・まもなく最新の米山月間資料が届きます！
- ・GETSで学友夫妻がユーモアあふれるスピーチ
- ・台湾学友会による日本人対象奨学金 第7期生が決定

« 今月のピックアップ記事 »

GETSで学友夫妻がユーモアあふれるスピーチ

ガバナーエレクト研修セミナーが9月1～2日、都内で開催され、2日午後のセッション「ロータリー米山記念奨学会プログラム」において、小沢一彦理事長と岩邊俊久事務局長が米山記念奨学事業の現状報告を行いました。

つづいて「ロータリー学友からのメッセージ」のセッションでは、ネパール出身で第2590地区米山学友会長のエソダ・バスネットさん（2011～12／横浜戸塚RC）と、そのご主人でネパール政府公式通訳者として活躍中のジギャン・クマル・タバさん（2008～09／横浜たまRC）がそれぞれスピーチを行いました。

夫婦そろって話し上手のお二人は、時折、会場の笑いを誘いながら、「ロータリーファミリーの一員になって、国に対する偏見が無くなり、社会奉仕に目覚めた」「民間交流の大切さに気づいた」と、ロータリーとの出会いで得たことを振り返りました。その思いを実践するように、4月25日のネパール大地震発生以降、夫妻で率先して現地への支援活動を続けています。そんなお二人に会場の研修リーダーやガバナーエレクトご夫妻の皆さんから、盛大で暖かい拍手が送られました。

そのほかの記事はロータリー米山記念奨学会のホームページをご覧ください。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会ホームページ

<http://www.totary-yoneyama.or.jp>

とはすなわち無心。無心になれば暑さも涼しさもないのではないかと・・・するとある僧は、いやいやそれは違う、快川は心ならずも火をかける兵に向かい、「おまえ達心配しないでいいよ、私は決して熱くて苦しんで死んでいくのではなく、涼風を感じながら何の苦しみもなく死んでいくのですから」快川はまさに死ぬ間際まで兵に対する思いやり、それはすなわち施してあったと私は解するのであります。

また一方、禅の言葉に「無財の七施」という言葉があります。施とは、一見金品を施すというように思いがちですが、決してそうではない。気持ちの持ちようで何の金銭もいらない中で人に施しが出来るということでもあります。

眼施（げんせ） 優しい目配り

和顔悦色施（わげんえつじせ） 笑顔の施し

言辞施（ごんじせ） 優しい言葉かけ

身施（しんせ） 身での施し

心施（しんせ） 心での施し

床座施（しょうざせ） 席をゆずる施し

房舎施（ぼうしゃせ） 住まいを提供する施し

スリランカでの考えも同じところがあると思います。「施し」とは人に何かを与えることですので、当然与えられる人が感謝する。しかし「六波羅蜜（ろくはらみつ）」によると施しは与える人がむしろ感謝する。従ってスリランカでは与えた人が与えられた人にお礼を述べるということです。

考えてみますとボランティアや奉仕をした折、私たちの心はすがすがしくなる。ああ！やったなあ！という達成感に立つことがある。このような思いに立つことができたことにむしろ感謝をしたい。

ロータリーの奉仕、決して人に対する押し付けの親切ではなく、奉仕することで自らの一日、人生が豊かになっていくということでもあります。

太田義久ガバナーは「地域にプレゼントしよう」と述べられています。地方創生が叫ばれる中、ロータリーこそが地方創生の中心でなければならないと考えておられるのです。加えて第2740地区はアジアに近く、中国、韓国、ベトナム、タイ…等との国際交流も大切であると述べておられます。太田義久ガバナーのご回復を祈って卓話を終わります。



SAA: 川島千鶴君

次回例会／9月24日12：30～

次回献立／洋食松花堂弁当